

受付番号

5

許可番号

大歯医倫 第 110927 号

研究課題名

歯冠部象牙質と接着性レジンセメントの接着強さに低温大気圧プラズマが与える影響

研究責任者

田中 昌博

申請者

山村 高也

研究終了日

2019 年 3 月 31 日

所属

有歯補綴咬合学講座

所属

歯学研究科 有歯補綴咬合学専攻

職名

主任教授

職名

大学院 3 年生

申請の概要

歯冠修復物が良好な予後を得るには、二次う蝕の抑制が重要である。二次う蝕の抑制には、良好な歯質と歯冠修復物の接着が重要である。象牙質に対する良好な接着を得るには、次亜塩素酸ナトリウム処理が有効と報告されている。

これまでにわれわれは、低温大気圧プラズマ処理の各種歯冠修復材料と接着性レジンとの接着強さに対する有効性について報告してきた。低温大気圧プラズマ処理によるぬれ性の向上により、接着強さの向上が可能である。しかしながら、低温大気圧プラズマ処理が、歯面へ与える影響については明らかになっていない。

そこで本研究では、治療のために抜去された歯牙を用いて、歯冠部象牙質と接着性レジンセメントの接着強さに低温大気圧プラズマが与える影響について検討する。